

膵癌患者における「診断時からの緩和ケア」の実態

—単施設後ろ向き研究—

◆研究の目的と概要◆

当院では、膵がん患者さんについて「生活のしやすさ調査票」の回答結果や多職種チーム介入の有無を調べることにより、患者さんが膵がんと診断された時に抱える身体的・精神的苦痛の内容や程度、多職種チーム介入に対する患者さんの希望、治療を開始してからの生活の質の変化を明らかにすることを目的とし、今後よりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2015年9月から、2019年12月までの間に、膵がんと診断され、当院で治療を受けた20歳以上の方。

◆研究に使用される情報◆

性別、年齢、身長、体重、飲酒歴、喫煙歴、既往歴、家族歴、診断のきっかけ、診断時の膵がんの病期、切除可能性、診断時の自覚症状と全身状態、膵がん診断時・診断1か月後・3か月後・6か月後における「生活のしやすさ調査票」の回答結果、膵がんに対する治療内容、緩和ケアチームやがん看護外来の介入の有無と時期、生存期間、(すでに死亡された方は)死因

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録(カルテ)等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
消化器内科 研究責任者 上野 真行

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明